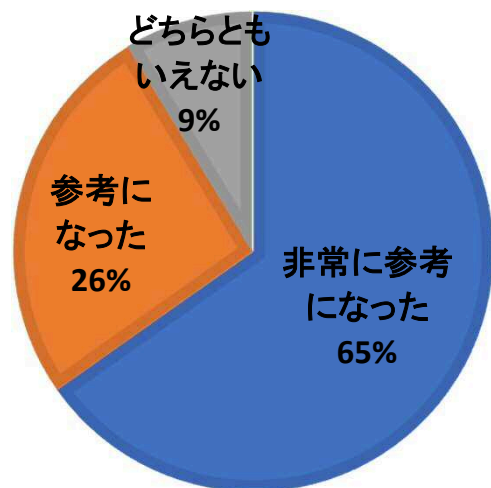


**令和3年度
フードバンク活動促進に向けた情報交換会
アンケート結果
(参加者36名：回答数24)**

1 情報交換会全体について

情報交換会に参加した感想

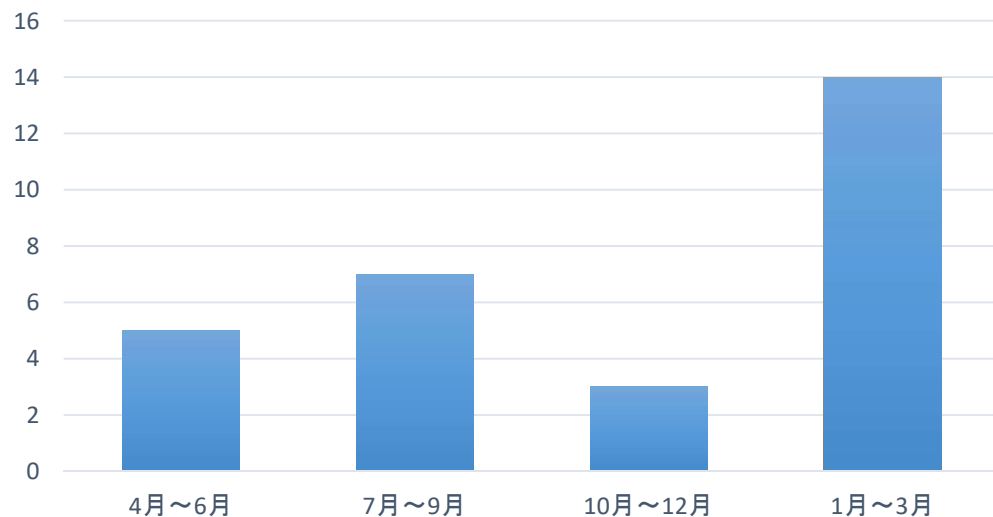


九州農政局主催として、3回目となる取組でしたが、参加いただいたほとんどの方に「非常に参考になった」「参考になった」との回答をいただきました。

新型コロナウイルスの感染が拡大傾向であったため、感染防止対策を講じたうえで、スクール形式による開催といたしました。

今後は、よりマッチングが進むような方法での開催を検討いたします。

妥当と思う開催時期(複数回答)

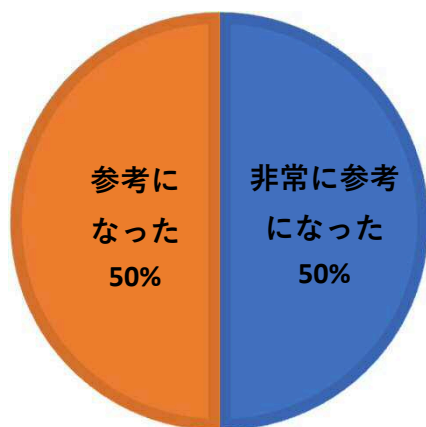


「1月～3月」が最も多い結果となりました。
これまでの結果を参考にし、より多くの方々に参加していただけるように、参加者の意向に沿った開催時期となるよう心掛けてまいります。

2 各プログラムの感想について

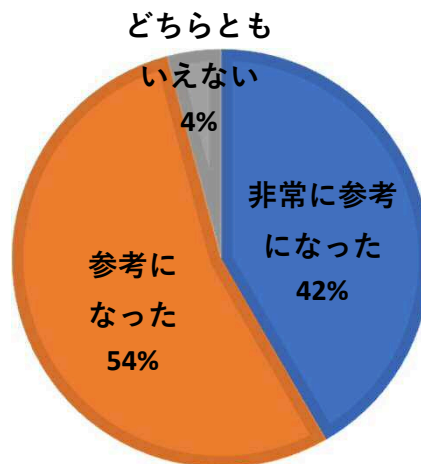
① 「フードバンク活動の促進に向けて」

農林水産省



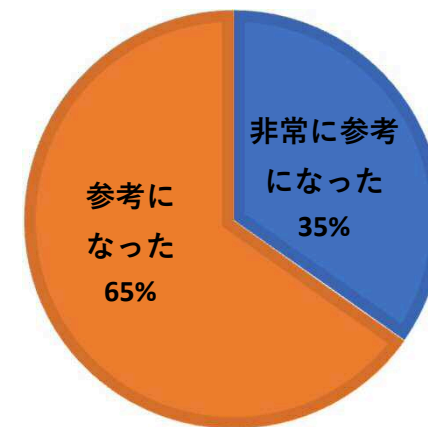
② 「九州における食品ロス削減の取組について」

九州農政局



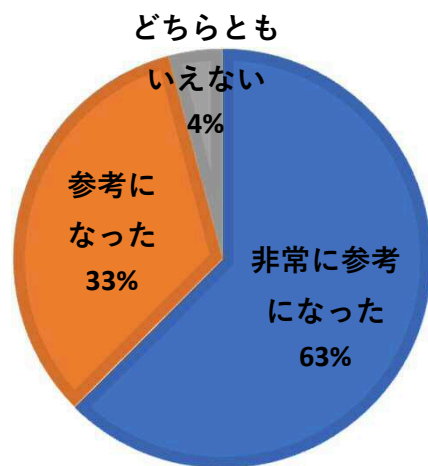
③ 「フードバンクへの食品提供の取組」

オークラ製菓株式会社



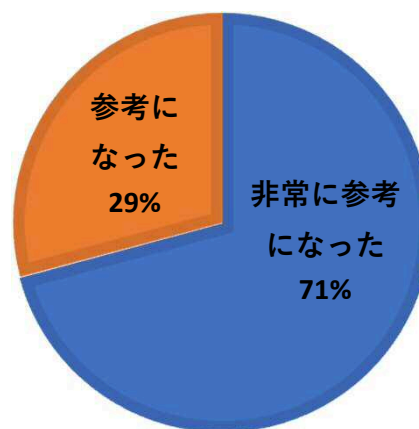
④ 「フードバンクを支援する取組について」

熊本市

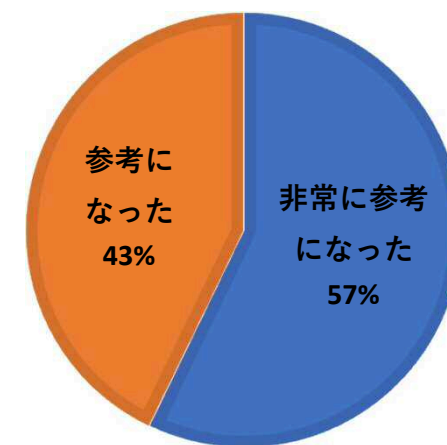


⑤ 「子どもの居場所に食を届けるロジ・ハブシステムの有効性」

子ども食堂ネットワーク北九州

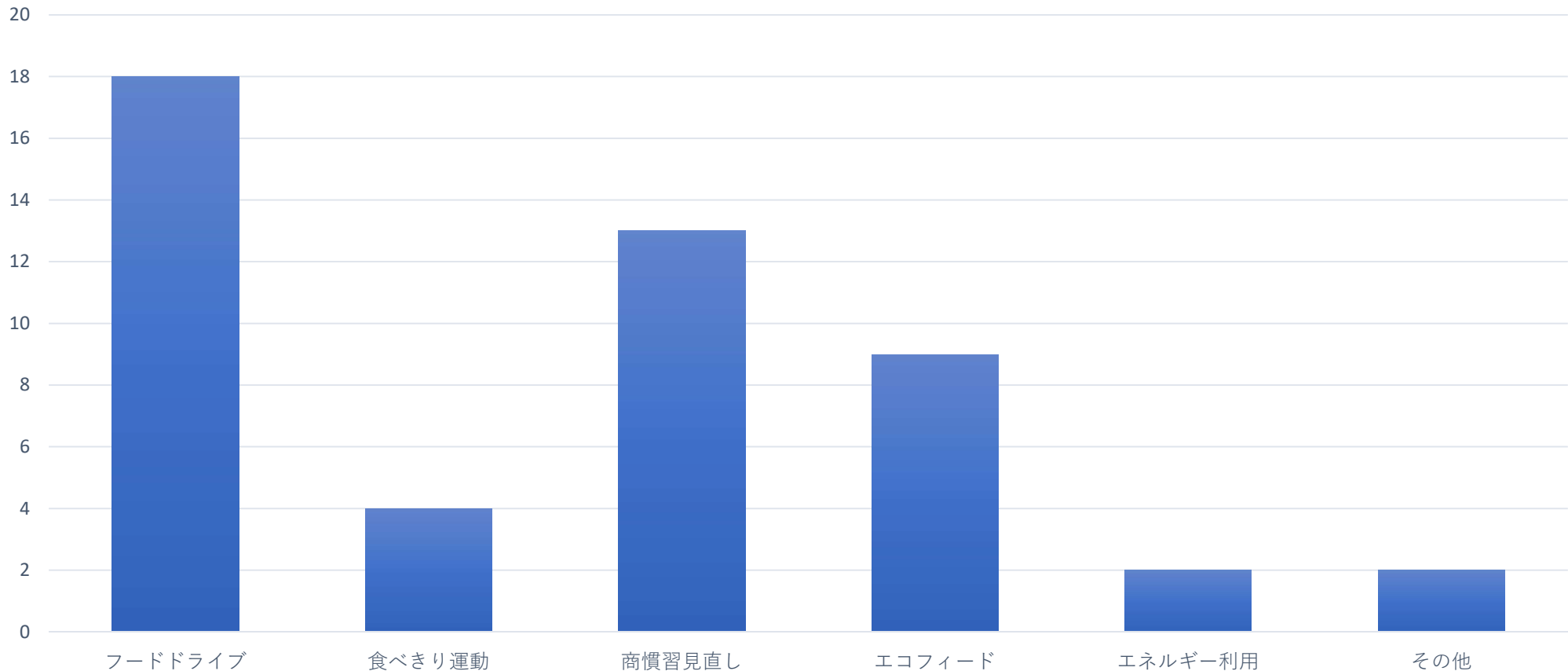


⑥ 「意見交換会」



3 興味がある項目について

食品ロス削減等の取組について興味がある項目（複数回答）



「フードドライブ」が最も多く、次いで「商慣習見直し」、「エコフィード」という結果になりました。フードドライブは、食品ロスの削減と生活困窮者支援の目的でアメリカで始まったと言われており、学校や職場など人が集まる場所ならいつでもどこでもできる活動です。今回の結果を次回に反映させるとともに、資料配布など情報提供についても検討いたします。

4 その他、御意見について

- オークラ製菓株式会社の賞味期限延長の取組について詳しく聞きたかった。
- フードバンクへの寄附に係る税制上の取扱いについて詳しく聞きたかった。
- 北九州市のひとり親の短時間雇用について詳しく聞きたかった。
- 熊本市の学生と連携した食品ロス削減の取組や、リレー方式によるフードドライブの取組は良いと感じた。
- 農水省と環境省だけではなく、厚労省や国交省なども含めて開催してほしい。
- 食品ロス削減だけでなく、地域共生づくりを目指すなかでのフードバンクの位置付けなど、多様な方々と意見交換できる場になればいいと思う。
- 1/3ルール以外の商慣習についても仕組みを改めればフードロスを削減できることがたくさんあるのではないか。
- フードバンク活動における財政の確保についての先進事例等の紹介をしてほしい。
- フードバンク活動の取組をされていない食品関連事業者にも参加していただくとよいと思った。

取組を始めたばかりという企業様から、フードドライブのことなど勉強になったという御意見をいただきました。また、熊本市における自治体とフードバンク団体の連携も関心が寄せられました。

相互理解を深めていただくことによって、フードバンク活動が大きく発展していくことを期待しています。

出席者の方々から、先進的な事例や成功事例、企業の取組事例などをもっと紹介してほしいという御意見を多くいただきましたので、次回以降に応えられるよう検討してまいります。